



EXCITING DUATHLON GRAND PRIX

CalfMan Japan



北関東 Stage 国営武蔵丘陵森林公園大会

【大会最終要項】

開催日

2015年1月18日(日)

開催場所

国営武蔵丘陵森林公園内特設コース

〒355-0802 埼玉県比企郡滑川町山田1920

■東武東上線「森林公園駅」下車 バス乗り場は北口です。

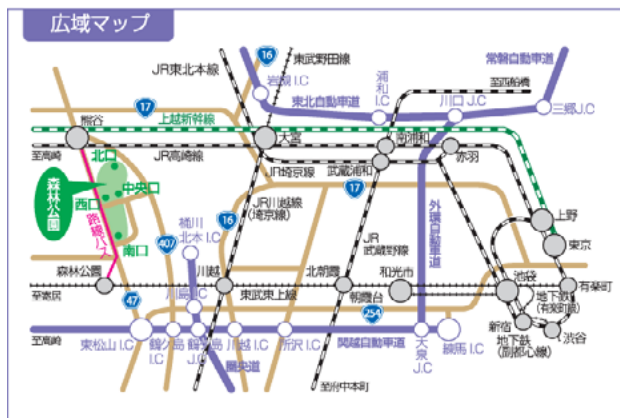
○直通バス「公園南口行」バスにて終点下車(約7分) 土日祝のみ運行

○路線バス「立正大学行」バスにて 南口→滑川中学校前 西口→西口前下車

■JR高崎線「熊谷駅」下車

○路線バスで「立正大学」乗換 西口前(約30分)又は南口前(約35分)下車

■関越自動車道「東松山IC」から熊谷方面へ約10分



競技内容・競技距離

【エリート男女】	第1ラン5km → バイク31.5km → 第2ラン5km
【エイジクラス男女】	第1ラン5km → バイク28.0km → 第2ラン5km
【リレー】	第1ラン5km → バイク28.0km → 第2ラン5km
【ビギナークラス】	第1ラン2km → バイク10.0km → 第2ラン2km
【ジュニアクラス】	第1ラン2km → バイク10.0km → 第2ラン2km
【キッズクラス】	第1ラン1km → バイク6.3km → 第2ラン1km

表彰

エリート	男女別各 1 ～ 6 位
エイジクラス男子	29 歳以下、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳以上 各 1 ～ 3 位
エイジクラス女子	39 歳以下、40 歳以上 各 1 ～ 3 位

※エイジクラス年齢は世界選考基準の 2015 年 12 月 31 日を基準とします。

リレー	1 ～ 3 位
ビギナークラス	男女別各 1 位
ジュニアクラス	男女別各 1 ～ 3 位
キッズクラス	学年別各 1 ～ 3 位
クラブ対抗戦	1 ～ 3 位（所属クラブ毎の合計ポイント制 ※要登録）

【クラブ対抗戦獲得ポイント一覧】

カテゴリー別総合順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	以降全て
獲得ポイント	20	15	10	9	8	7	6	5	4	3	1	以降全て

クラブ対抗戦は 3 名以上完走したクラブに、各部門の順位に応じたポイントを付与する。獲得ポイントは以下の順位に設定する。
（最下位でも 1 ポイントを獲得できます）エリート男女総合順位, エイジ（10 代男女別順位, 20 代男女別順位, 30 代男女別順位, 40 代男女別順位, 50 代男女別順位, 60 代以上男女別順位）, リレー総合順位, ジュニア総合順位, キッズ総合順位, ビギナー総合順位

大会スケジュール

7 : 3 0 ～	オフィシャル駐車場オープン
8 : 0 0 ～ 9 : 0 0	全クラス受付（オフィシャル駐車場内受付）
9 : 3 0 ～	選手入門（中央口入場ゲート） ※受付時に入園整理券をお配りいたします。（応援者も購入が可能です）
9 : 3 0 ～	全クラス バイクコース試走（選手全員必須）
1 0 : 1 5 ～	開会式・競技説明会（参加必須）
1 0 : 3 0 ～	ビギナークラス・ジュニアクラス競技開始
1 0 : 3 5 頃 ～	キッズクラス競技開始
1 1 : 3 0 頃 ～	エイジクラス・リレー競技開始 第 1 W＝男子 1 0 代、2 0 代、3 0 代、リレー 第 2 W＝男子 4 0 代、5 0 代、6 0 代以上、女子 ※キッズクラス・ジュニアクラス・ビギナークラス競技終了次第
1 1 : 5 0 ～	ビギナー・ジュニア・キッズ表彰式
1 2 : 0 0 ～ 1 2 : 3 0	エリートクラス追加受付
1 2 : 1 0 頃 ～	エリートクラスコース試走（場内アナウンスに従ってください）
1 2 : 4 5 ～	エリートクラス競技説明（参加必須）
1 3 : 0 0 頃 ～	エリートクラス競技開始
1 5 : 0 0 ～	表彰式／閉会式

- ※ 開門時間から競技開始（コース試走含）までが短い為、競技準備を整えて速やかに入門（移動）して下さい。
- ※ 当日の諸注意は、後述の「大会当日の進行と諸注意」をよくお読みください。
- ※ エリートの追加受付は 1 2 : 3 0 頃まで溪流広場本部で受け付けますが、9 : 0 0 以降の入園につきましては入園料自己負担でお願いいたします。（大人 4 0 0 円）
- ※ 参加者の申込状況により、タイムテーブルが変更になる場合があります。
- ※ バイクは召集時間前（スタート 15 分前）までに、必ずトランジションエリア内バイクラックに準備してください。
- ※ なお、当日の天候により止むを得ない場合は、主催者側の判断でスケジュールおよび競技内容の変更又は、中止することがあります。

参加賞

- ①大会オリジナルグッズ（引換券を交換窓口にお持ちください）
 - ②カップ麺、グリコCCDドリンク、カリフォルニアレーズン他
- ※①はエリートクラス、エイジクラス参加者のみ

（リピーター割引対象者、2回目以降参加の招待選手は除く）

プリム賞

今シーズンより、「GONTEX マルチカラーテープ」を取り扱う株式会社ジー・オー・エヌ様がスポンサーとなりエリートクラスに「プリム賞」をご提供頂ける事となりました。

GONTEX ホームページ <http://www.gon-ff.com/>

対象者は下記の通りとなります。

- ① 第1ラン TOP の選手
 - ② バイク2周目を TOP で通過した選手
- エリートクラス男女各①、②の選手に付与します。

※但し、そのレースにおいて男女総合順位5位以内、かつ TOP から +5%以内のタイムで完走しないと権利をチャンピオンシップに持ち越す事とします。

駐車場配置図



※注意

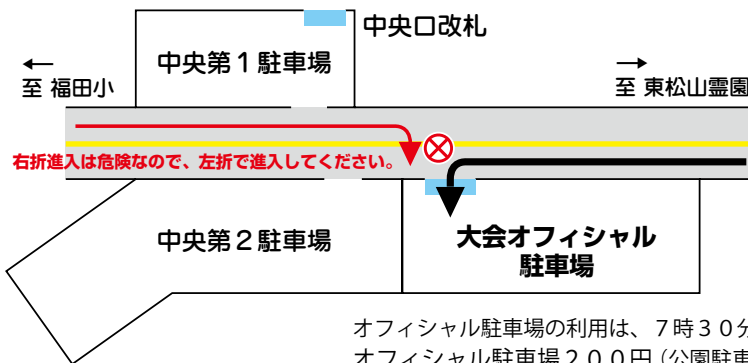
大会オフィシャル駐車場から入園するために横断する県道307号線道路は、車幅が広く通行する大型車などがかなりのスピードで走行する非常に危険な道路です。横断の際には左右の安全を充分に確認の上お渡りくださいますようお願いいたします。

【大会当日の進行と諸注意】

1. 会場までの交通機関

関越自動車道「東松山IC」から熊谷方面へ約10分

※公園中央第2駐車場に隣接する大会オフィシャル駐車場をご利用ください。



オフィシャル駐車場の利用は、7時30分からとなります。

オフィシャル駐車場200円（公園駐車場料金：600円）

※必ず先払いの上、お釣りの無いようにお支払いください。

東武東上線「森林公園駅」下車、中央口まで自転車でお越しください

※徒歩で応援に来られる方は、西口行きのバスに乗り、西口より徒歩で会場の溪流広場までお越しください。

2. 入場、受付について

ゲートをお間違えないよう、時間に余裕をもってお越しください

①受付は8時00分より「大会オフィシャル駐車場内」にて行います。

受付時、入園整理券（団体券）をお渡しいたします。応援の方には販売も可能ですが、数に限りがありますことをご承知願います。（先着順とさせていただきます。）

受付付近のインフォメーションボードにスタートリストを掲示いたします、ご自分のレースナンバーをご確認ください。（事前にインターネットでもご確認ください。http://www.calfman.jp）

②受付の際に、以下の書類をご提出ください。代理の受付は認められません。

□誓約書（署名捺印されているもの） ※詳しくは「3. 誓約書について」をお読みください。

出場を辞退し、参加賞のみを受け取られる場合は、かならずその旨をお申し出ください。

③受付では下記の物品をお渡しいたします。受け取り後、必ずご自身の物かどうかご確認ください。

【受付にて支給される物品】 ※トランジションバッグに入っています

- ・ナンバーカード×2枚
- ・安全ピン4本×2セット
- ・大会プログラム（名簿入り）×1冊
- ・ステッカーセット×1セット（バイク用×1、ヘルメット用×1、参加賞引換券×1）
- ※ビギナー・ジュニア・キッズ・リレー及びリピーター割引者には参加賞引換券はつきません。
- ・参加賞（カップ麺、CCDドリンク等）
- ・なめがわ温泉「花和楽の湯」割引券×1枚
- ・入園整理券×1枚

④公園入園は、9時30分からとなります。（入り口で入園整理券を係員にお渡しください）

⑤中央自転車持込口より入場後、園内サイクリング道路を通過、会場である溪流広場へお越しください。

サイクリング道路以外の園内では必ず押して歩いてください。

3. 誓約書について

- ①インターネットでお申込みの方は、誓約書の提出が不要です。電話申込者、招待選手は事前にホームページよりプリントするか当日受付前にある誓約書に、必ず署名捺印の上、受付へご提出ください。郵送サービスお申込者で電話申込者は、本最終要項に同封されている誓約書に署名・捺印の上、受付へご提出ください。インターネットから誓約書を印刷できない方は、当日の署名捺印となります。印鑑をお持ちください。
- ②未成年者は、保護者の署名・捺印がないと出場できません。

4. 会場内での注意事項

- ①競技のメイン会場（スタート・フィニッシュ地点）は、【溪流広場】です。
- 受付・入園ゲートの【中央自転車持込口】から、徒歩で10分程度要しますので、競技時間に遅れないようにお願いします。



- ②公園規則により、**自転車はレース時・コース試走時以外乗車することはできません。**
園内では必ず押して歩いてください（失格の対象となります）。
- ③競技中も、公園は一般開園中です。来園者、観客、特にお子様には十分注意し、危険のないよう十分な配慮をお願いします。
- ④エイドステーションでの紙コップ等は、所定のゴミ箱に捨てるよう心掛けてください。
- ⑤コースは美しい国営公園内です。競技中に飲食した補給食等のごみ、会場内で生じたごみは、指定の場所に捨てるか、できれば各自が持ち帰るようご協力をお願いします。
- ⑥競技中、緊急車両が通行する場合があります。その場合には速やかに道を譲ってください。
- ⑦貴重品、所持品のお預かりは出来ません。各自の責任において管理願います。
- ⑧下記物品は公園への持込禁止となっておりますのでご注意ください。

開園時間 9 : 30

閉園時間 16 : 00

Opening at 9:30 a.m. / Closing at 4:00 p.m.

持ち込み禁止

Items not permitted within the Park premises
(The staff keep them at the entrance)

 parasol	 skateboard	 insect cage insect net	 tent	 タープ
 portable cooking stove	 metal bat	 kickboard	 棒付き自転車 (補助輪なし)	 lacrosse

その他：銃刀類 / ゴルフ道具 / 硬球 / ボート / ブーメラン / 弓矢 / パチンコ / 原動機付自転車
釣道具 / 球技用ネット / ソリ / 植物採取道具 / エンジン付模型 /
テニスラケット / スポーツカイト / その他混雑状況等により係員が危険と判断したもの

サイクリングコース

BIKEWAY

歩行者進入禁止

No Pedestrians





Musashi-Kyuryo National Government Park



5. コース試走

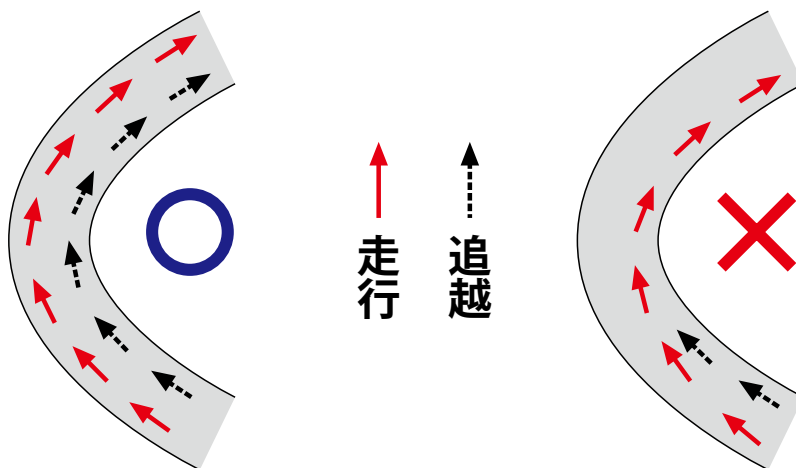
公園内特設バイクコースは、カーブ、起伏に富んだテクニカルなコースです。

※**最重要** 9:30の入園後より～10:15の競技説明・開会式までに必ずバイクでコースの試走を行ってください。危険箇所確認のための試走であってレースではありません。充分な安全走行をお願いいたします。エリートクラスは別途試走タイムを設けますので、場内アナウンスに従ってください。

6. 自転車走行の注意

カーブでも左側走行を順守してください。（試走時も）

追い越しの選手が右側を走行いたします。アウト・イン・アウト走行は大変危険です。追越者も、追いつく際は一声かけてから。お互いにルールを守りましょう。無事故による大会終了に何卒ご協力お願いいたします。



7. 車 検

車検等はいりません。各自の責任において十分な点検整備を行ってください。なお、当日メカニックサービスを行っておりますのでご利用ください。部品代などは別途実費になります。

北関東ステージのコースはアップダウンやコーナーが多く、直線部分はほとんどありませんのでDHハンドルは役に立ちません、極力はずしてご参加を奨励いたします。

ジュニア・キッズはDHハンドルを禁止とさせていただきます。

8. レースナンバーの取り付け

レースナンバーは、必ず上半身のウェア前面・背面にナンバーが確認できるよう取り付けてください。ナンバーベルトの使用はOKです。ステッカーはヘルメットの前面と、バイク右側面に貼ってください。

9. アンクルバンド

①スタート10分前になりましたら、スタート地点に集合してください。その際、計測用のアンクルバンドを受け取り、足首に装着してください。（銀色面が表です）

アンクルバンドには、発信器が内蔵されており、固有のナンバーが登録されています。

③アンクルバンドは競技中ははずさないでください。

④装着後は、競技開始までスタートエリア内でそのまま待機をお願いいたします。

⑤アンクルバンドは競技終了後、回収します。アンクルバンドの紛失、故意による破損、持ち帰りは、¥5,000を請求させていただきます。

10. 棄権の申告

棄権する方は、レースナンバーを外してからコースを離れ、大会本部に戻ってください。大会本部にてアンクルバンドを返却した時点で、棄権とします。自動計測場所付近には立ち寄らないでください。

11. 荒天の場合

荒天の場合は、中止、または距離、内容の変更を実行委員会で午前6時に決定します。中止、変更があった場合でも、参加費の返還は行いません。また、会場までの交通費の補償なども行いません。

12. 総合成績表の発行

郵送サービスを希望されている方には、後日総合成績表を郵送いたします。郵送サービスを希望されていない方は、下記のホームページで結果を閲覧・ダウンロードしてご覧ください。

カーフマン・ジャパン公式ホームページ <http://www.calfman.jp>

トライエックス (TRI-X) ホームページ <http://www.tri-x.jp>

13. 大会保険について

大会保険に基づき、大会中の事故を補償します。ただし、故意、犯罪行為、麻薬などの使用、精神障害、他覚症状のない“むちうち症”または腰痛、大会直前12ヶ月以内の既往症と因果関係のある疾病による身体障害、地震、噴火、津波、戦争の他の争乱などは、対象外となります。

- ・死亡 1,000 万円 ・入院日額 5,000 円 ・通院日額 2,500 円
- ・賠償責任 1 億円（免責 1 万円）

14. お湯のサービス

カップ麺が配布されます。すぐに食べられますようお湯のサービスを致しております。提供品以外の持ち込みのスープ、コーヒーなどにもどうぞお使いください。

15. 防寒対策

1月の開催時期ということもあり、天候によっては大変寒いことが予想されます。長袖のウェア、裾の長いタイツ、手袋、ウィンドブレーカーなどの防寒着は必ずお持ちください。

16. コースの事前試走

※推奨 バイクコース、ランコース（サイクリングロードは歩行・ランニング禁止）は公園開園日に事前試走することが可能です。一般来園者に十分注意して、安全な速度で試走してください。

17. お問い合わせ・ご連絡先

カーフマン・ジャパン・デュアスロン GP 大会事務局

〒206-0802 東京都稲城市東長沼 2120-6 グラン・ヴェルジェ 104

TEL：042-379-5201（受付時間 月～金 10:00～18:00）

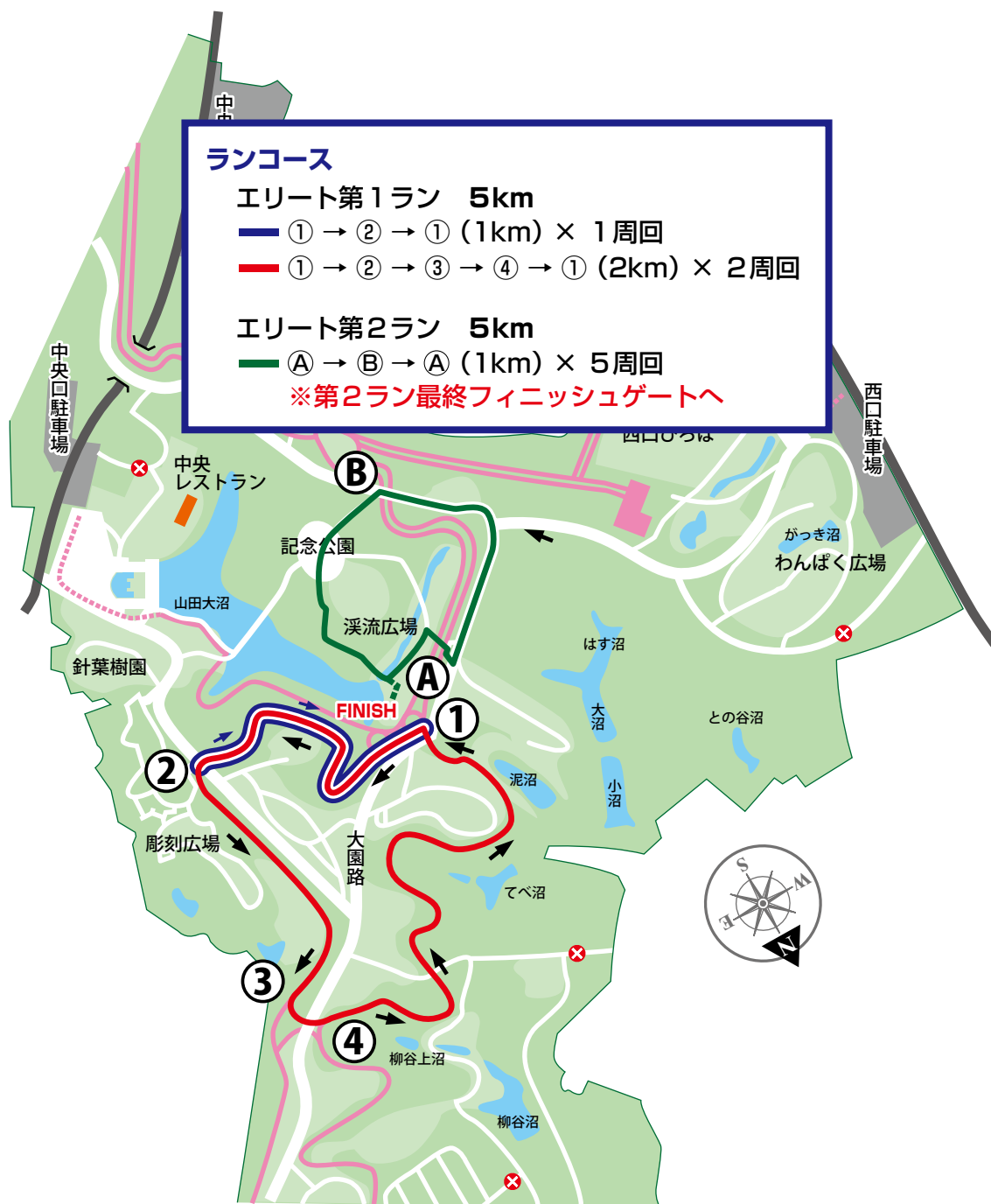
FAX：042-379-1992

E-mail info@calfman.jp

※受付時間外における緊急のご連絡、および

大会前日・当日のご連絡はTEL 090-8779-2730（事務局石井）までお願い致します。

【大会コース図】





ランコース（第1ラン、第2ラン共通）

キッズ 1km

① → ② → ① (1km) × 1 周回

※第2ラン最終フィニッシュゲートへ

ジュニア、ビギナー 2km

① → ② → ① (1km) × 2 周回

※第2ラン最終フィニッシュゲートへ

エイジ、リレー 5km

① → ② → ① (1km) × 5 周回

※第2ラン最終フィニッシュゲートへ

バイクに関し、特にご理解いただきたい項目を下記に記します。試走も含め、規定のヘルメットの着用が義務付けられています。キープレフト：左側走行（左端から1mコース幅の左側1/3以内基準）で競技する。コース右側は追い越しスペース。追い越しは後ろを確認し、前走者の右側から。センター寄りの走者には注意を与える。不安があれば「一声掛けて追い越す」と効果的。ドラフティングとは他の競技者又は車両のドラフトゾーンの中に入って走行する事。ドラフティング禁止レース（エリートクラス以外）では他の競技者の優先進路を妨害する行為（他の競技者の右側を、同一速度での走行を続ける事等）を「ブロッキング」として禁止している。ドラフトゾーンはバイク前輪の最前部を起点に後方7m、横幅3m（左右それぞれ1.5m）の範囲。ドラフトゾーンへ入れるのは15秒以内に追い越せるとき。危険回避の為やむを得ないときやトランジション出入り口付近。

選手の皆様へ諸注意

■ヘルメット

自転車（競技）では、はじめにヘルメットをかぶってストラップ（ひも）の金具をしっかりはめてから自転車をうごかしてください。



■トランジションエリア内では、自転車に乗ってはいけません。自転車を押して乗車ラインまで行ってください。



■ドラフティング禁止
他の選手の後ろについて走
ことは、禁止です。









園内バスが上下運行していますので十分注意して選手は左側通行してください

一般来園者との共有エリアです。自転車を押して左側を通行してください。

デュアスロンの競技規則について

(JTU 競技規則よりラン及びバイク部分抜粋)

□競技者の心得

- 1 大会は予測できないことの連続である。風、暑さ寒さ、観客や車の飛び出し、見えないくぼみ。危険を察知し、適切な判断で競技する。
- 2 日頃の練習と健康管理。早めの水分補給。マイペース。リタイアの勇気を持つ。
- 3 ドラフトゾーンやトランジション・スペースなど「競技スペース」を守る。

□競技について

- 1 競技は車の運転と同じ＝競技者は運転手。審判員は警察官。車間距離とキープレフト。追越し車線。悪路や渋滞での減速。徐行と加速、ゆずりあいの精神で安全運転。

□ウェアと用具

- 1 バイクでは、規定のヘルメットと用具。ランではシューズを着用。
- 2 レースナンバーは、四隅を留める。全面が見えるよう気を配る。折り曲げ、変造は禁止。ナンバーベルト使用では、レースナンバーが極端に下にならないよう配慮。
- 3 サングラスは、透明度の高いものがよい。総合フィニッシュでは、サングラスをはずす。
- 4 音響・通信機器の使用は禁止。

□スムーズな競技とリタイア

- 1 危険・妨害行為は禁止。相手の優先コースを判断し、スムーズで安全な流れを守る。
- 2 リタイアは、スタッフに伝え、大会本部にも連絡する。

□トランジションエリア

- 1 競技コースの一部。エリア内は乗車禁止。ペダル片足走行も禁止。
- 2 ヘルメットのストラップは、ラックからバイクを外す前にしっかりと締める。フィニッシュ後は、バイクを掛けてからストラップを外す。
- 3 前輪の先端が、「乗車ラインを越えてから乗る」「降車ラインを越える前に降りる」。

□バイク（自転車）

- 1 バイクは体に合ったもの。
- 2 ヘルメットを深くかぶり、ストラップをあごにかかるように締める。
- 3 規制されたコースでも、交通規則を守る。表示板、コーン、大会スタッフ、競技役員の指示に従い競技する。
- 4 《前方注意・車間距離の確保》は、重要な義務。転倒や急ブレーキ、相手の動きに注意。エアロバーでは、視界が狭まりブレーキが遅れる。
- 5 キープレフト：左側走行（左端から 1m、コース幅の左側 1/3 以内基準）で競技する。コース右側は追い抜きスペース。
- 6 追い越しは、後ろを確認し、前走者の右側から。センター寄りの走者には注意を与える。不安があれば「一声掛けて追い越す」と効果的。
- 7 ドラフティング走行・集団走行・併走は禁止。

今回の大会は、ドラフティング禁止ルールで行われます。以下に、JTU ルールブックからの抜粋を引用いたしますので、第 2 節を熟読してください。

<ドラフティングルール>

- 1 ドラフティングは、他の競技者又は車両のドラフトゾーンの中に入って走行する事。ドラフティング禁止レースでは、他の競技者の優先進路を妨害する行為（他の競技者の右側を同一速度で走行を続ける事等）を「ブロッキング」として禁止している。
- 2 ドラフトゾーンは、バイク前輪の最前部を起点に、後方 7m、横幅 3m（左右それぞれ 1.5m）の範囲。車両ドラフトゾーンは、車両の最前部の中心を基点として後方 35m、幅 5m（左右それぞれ 2.5m）の範囲。
- 3 自転車幅は 2m 以内。2 台半から 3 台分の車間距離をあける。
- 4 ドラフトゾーンへ入れるのは、15 秒以内に追越せるとき。危険回避のためやむをえないときやランジョン出入り口付近。

<バイク追越しの決まり>

- 1 安全に素早く追い越せると判断したら、後方確認、右手を挙げ、右側から追い越しに入る。センターラインは越えない。
- 2 追い越したら、再度後ろを確認。左手で合図し、キープレフト走行に戻る。
- 3 追い越し中は、《追い抜く意志を持って、前進している》ように見えなければいけない。ピタリと接近し、静止しているように見えると、規定タイム内でも警告を受ける。
- 4 前輪先端が、先行する前輪の先端よりも前に出たときに「追い越した」と見なす。
- 5 追い越されたら、すぐ抜き返したり、背後に付いてはいけません。後退しているように見えなければ注意を受ける。15 秒以内に後方 5m まで下がる。

□ラン（ランニング）

- 1 第 1 ラン、第 2 ラン共にキープレフト（左側）で走る。マイペースで、一休みもできる。
- 2 追越しは前走者の右側から。
- 3 同伴／伴走フィニッシュは、禁止です。

□エイドステーション

- 1 エイドステーションでは、スピードを抑えて補給を受ける。左手で合図し、スタッフにお願いする。
- 2 スタッフは、止まって渡し、走らない。競技者が注意して受け取る。
- 3 エイドステーション以外での支援は禁止。
- 4 水、ＣＣＤドリンクが用意されております。

今大会のバイクコースにエイドステーションはありません。各自バイクボトルなどに補給ドリンクをご用意ください。
(ペットボトルは落下防止の為、ご使用になれません。)
スタート前にエイドステーションで補給可能です。
エイドステーションは、フィニッシュ及びランコース上にあります。

下記ハンドル規定外のバイクでは参加できません

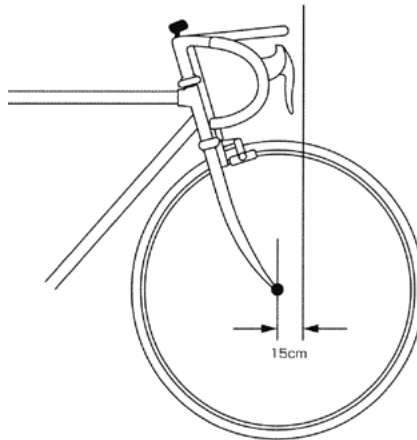
(JTU 競技規則【第8章 バイク(自転車)】より該当部分抜粋)

□エアロバー

ドラフティングレースにおけるエアロバーは、次に掲げる条件を満たさなければならない。

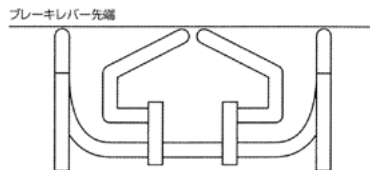
(1) エアロバーの先端は、前輪ハブ軸より15cm以上、前方に出てはならない。

(図A)



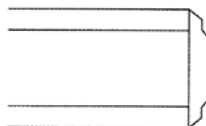
(2) エアロバーの先端は、左右のブレーキレバーの最前部を結ぶ直線より前に出てはならない。

(図B)



(3) エアロバーの先端部分が前方に向いている場合は、先端を連結しなければならない。

(図C)



(4) エアロバーの先端部分にシフトレバーなど突起した部品を装着してはならない。